

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月27日

計画の名称	飛越交流圏域活性化計画（重点）											
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	富山県											
計画の目標	富山県と岐阜県は、世界遺産である「白川郷・五箇山合掌造り集落」のほか魅力的な観光資源を数多く有しており、「富山・岐阜交流の日」協定や「昇龍道プロジェクト」など広域観光の共同推進に力を注いでいるところである。 これに加え、北陸新幹線の開業や、東海北陸自動車道の4車線化など高速交通ネットワークの進展によって、飛騨越中エリアは更なる観光客の増加が見込まれる。 このことから両県が連携して広域的な周遊観光ルートの道路整備などを推進し、地域振興を図る。 とやま呉西圏域連携中枢都市圏における観光地アクセスを向上することにより、観光振興による都市圏形成を促進する。 能登半島地域における観光アクセスを向上することにより、観光振興による半島の自立的発展・活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,200	A	7,200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	・【富山県・岐阜県 共通目標】 岐阜県（飛騨地域）・富山県における観光客入込数を3,471万人（H26）から3,895万人（H32）に増加（424万人の増加） 【富山県・岐阜県 共通目標】 観光客入込数 （観光客入込数の増加）＝（評価時点の観光客入込数）－（H26の観光客入込数）	3471万人	3773万人	3895万人
2	・【富山県 単独目標】 19の拠点施設における観光客入込数を727万人（H26）から781万人（H32）に増加（54万人の増加） 【富山県 単独目標】 19拠点施設における観光客入込数 （19拠点施設における観光客入込数の増加）＝（評価時点の19拠点施設の観光客入込数）－（H26の19拠点施設の観光客入込数）	727万人	763万人	781万人
3	・とやま呉西圏域連携中枢都市圏に位置する9拠点施設における観光客入込数を349万人（H26）から375万人（H32）に増加（26万人の増加） とやま呉西圏域連携中枢都市圏に位置する9拠点施設における観光客入込数 （9拠点施設における観光客入込数の増加）＝（評価時点の9拠点施設の観光客入込数）－（H26の9拠点施設の観光客入込数）	349万人	366万人	375万人
4	・能登半島地域（氷見市）に位置する1拠点施設における観光客入込数を115万人（H26）から123万人（H32）に増加（8万人の増加） 能登半島地域（氷見市）に位置する1拠点施設における観光客入込数 （1拠点施設における観光客入込数の増加）＝（評価時点の1拠点施設の観光客入込数）－（H26の1拠点施設の観光客入込数）	115万人	120万人	123万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(主)小矢部伏木港線 福岡町土屋	現道拡幅 L=0.24 km	高岡市						300	-	
	A11-002	道路	一般	富山県	直接	-	国道	改築	(国)415号 太田	現道拡幅 L=0.20 km	高岡市						400	-	
	A11-003	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(主)新湊庄川線 下条	現道拡幅 L=0.25 km	射水市						500	-	
	A11-004	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(一)姫野能町線 中曾 根	バイパス L=1.80 km	射水市						1,300	-	
	A11-005	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(主)小杉婦中線 戸破 ~黒河	バイパス L=1.00km	射水市						1,000	-	
	A11-006	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(主)高岡小杉線 橋下 条	バイパス L=1.20km	射水市						1,500	-	
	A11-007	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(主)氷見惣領志雄線 飯久保	現道拡幅 L=0.24 km	氷見市						300	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-008	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(一)井栗谷大門線 三 合新	バイパス L=0.53 km	砺波市						500	-		
	A11-009	道路	一般	富山県	直接	-	国道	改築	(国)471号 利賀パイパ ス	バイパス L=0.60 km	南砺市							1,000	-	
	A11-010	道路	一般	富山県	直接	-	都道府 県道	改築	(一)藤森岡線 和沢~ 野寺	現道拡幅 L=0.63 km	小矢部市							400	-	
											小計							7,200		
											合計								7,200	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山県の独自の評価方法に準拠し土木部道路課にて評価を実施	令和5年3月
	公表の方法
	富山県のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算の中、事業箇所により優先順位をつけ予算配分することで、道路整備を一因として、平成28年から平成29年には観光客数が増加するなど、観光振興による広域的な地域活性化に寄与したと考えられる。</li> <li>A11-009：(国)471号 利賀バイパスの整備により、岐阜県から拠点施設である庄川温泉郷までのアクセス向上されたため、観光交流人口の増加に寄与した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A11-001：(主)小矢部伏木港線 土屋地区の整備により、高岡北ICから拠点施設である三井アウトレットパーク北陸小矢部までの渋滞箇所が解消</li> <li>・A11-002：(国)415号 太田地区の整備により、高岡市街地から拠点施設である道の駅雨晴までのアクセス向上</li> <li>・A11-005：(主)小矢部婦中線 射水市戸羽から黒崎地区の整備による高架化により、富山西ICから拠点施設である海王丸パークまでの渋滞箇所が解消</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、進捗が遅れた事業箇所も計画的に道路整備を進めていく。</li> <li>【未完了事業】：A11-003、A11-004、A11-006、A11-007、A11-008、A11-010</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	3895万人	富山県及び岐阜県の飛騨圏域における観光入込客数は、中間評価のH30年度末時点では3891万人となり、中間目標値（3773万人）を上回ったが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。 【岐阜県】R2実績値：365万人（参考：H30 715万人）
	最終実績値	2052万人	
2	最終目標値	781万人	富山県における観光入込客数は、中間評価のH30年度末時点では835万人となり、中間目標値（763万人）を上回ったが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。 【代表的な拠点施設】富岩運河環水公園：H26 139万人 R2 107万人（参考：H30 225万人）
	最終実績値	394万人	
3	最終目標値	375万人	富山県における観光入込客数は、中間評価のH30年度末時点では366万人となり、中間目標値（366万人）と同程度であったが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。 【代表的な拠点施設】海王丸パーク：H26 99万人 R2 59万人（参考：H30 110万人）
	最終実績値	174万人	
4	最終目標値	123万人	富山県における観光入込客数は、中間評価のH30年度末時点では120万人となり、中間目標値（120万人）と同程度であったが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。 【代表的な拠点施設】ひみ番屋街：H26 114万人 R2 68万人（参考：H30 120万人）
	最終実績値	68万人	